

## 2. 接皮部の穴開け

●装具を貼付する面に開ける穴は、定められた有効径の範囲を超えないようご注意ください。有効径を超えて穴を開けますと、袋が破れたり、確実な固定力が得られない場合があります。

●装具を貼付する面に開けた穴の切り口は、指で軽くこすって滑らかにしてください。切ったままの状態では切り口が滑らかではないため、患部を傷つける場合があります。

## 3. 交換

●交換時には、皮膚に残った皮膚保護剤を無理に剥がさず、剥離剤（プロケアーリムーバー等）をご使用ください。無理に剥離すると、かぶれ、発赤などの症状を生じる場合があります。

## 保管上のご注意

●室温で保管してください。高温多湿や直射日光が当たる場所で保管しますと、皮膚保護剤が劣化して、排液漏れの原因となります。

●冷蔵庫での保管はお止めください。装具の貼り付きを悪くさせる原因となります。万一、冷蔵庫に保管してしまった場合は、室温に戻し装具を手で温めてからご使用ください。

## 種類と規格

### ウエルケア・ドレーン

種類	商品コードNo.	規格		1函入数
		袋サイズ(縦×横)	有効径	
S	15831	160mm× 95mm	35mm	5枚
M	15832	240mm×120mm	100mm× 60mm	5枚
L	15833	280mm×160mm	120mm×100mm	5枚

### プロケアーソフトウエハー・スティック

種類	商品コードNo.	規格(縦×横)		1函入数
		スティック	15mm×100mm	
	15601			10本

# ウエルケア・ドレーン

## Wellcare-Drain

### 瘻孔ドレナージ

Fistula Drainage Appliance

### 取扱説明書

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、商品の特性を十分に理解してからご使用ください。
- 常に、この取扱説明書をお手元に置き、必要に応じてお読みください。

お客様相談室 ☎ 0120-770-175  
(土・日・祝日を除く 午前9:00～午後5:30)  
[www.alcare.co.jp](http://www.alcare.co.jp)

## はじめに

『ウエルケア・ドレーン』は、各種排液バッグに接続することにより、持続的な瘻孔管理が行えるワンピース型装具です。安全にお使いいただくために、用途以外の使用はせず、この取扱説明書に従ってご使用ください。

## 使用上のご注意

\*【使用上のご注意】や【保管上のご注意】では、危険度に応じて次の区分を行います。

△警告……誤った取扱いをすると、中等度以上の人身事故が想定される内容を示します。  
注 意……誤った取扱いをすると、人が軽度の障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

## 警 告

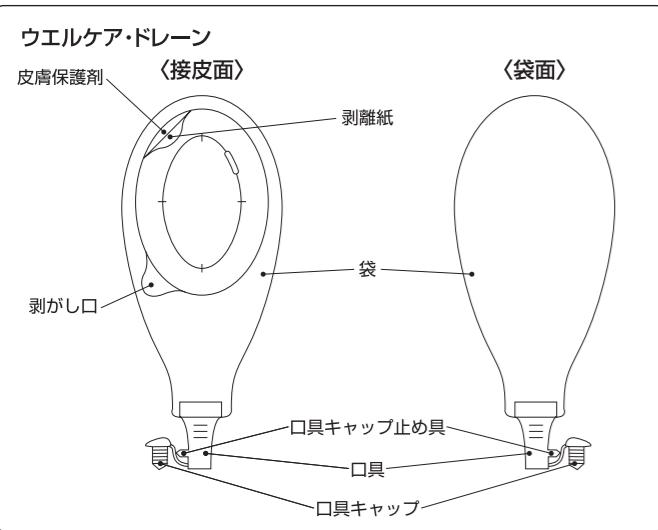
●本品の使用中にかゆみ、かぶれ、発赤などの症状が発生した場合には、直ちに使用を中止してください。

## 注 意

### 1. 排液漏れの防止

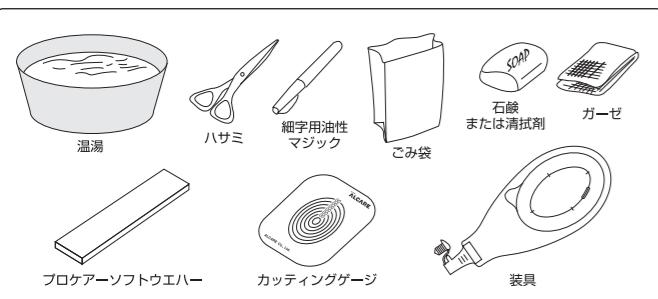
- 患部周囲を石鹼で清拭する際は、完全に石鹼を取り除き、水分を拭き取ってください。石鹼および水分の取り除きが不十分な場合、粘着力が低下し、排液漏れの原因となります。
- 軟膏を塗布した場合には、本品を貼付しないでください。軟膏の油分で粘着力が低下し、排液漏れの原因となります。
- 装具は必ず体に対して少し傾斜させて装着してください。装具を水平に装着すると排液が流れず、袋内部に溜まることがあります。その場合は、口具側が下になるように体動してください。
- 袋部のねじれを防ぎ、排液のスムーズな流れを確保するためにも、必ず接続チューブは皮膚に固定してください。
- 袋内部に排液が溜まった状態が続くと、皮膚保護剤が溶けやすくなるため、排液漏れやかぶれの原因となりますので、速やかに流し出してください。

## 各部の名称と構造



## 使用手順 イラストはMサイズです

### 1 必要物品の準備



## 使用手順 イラストはMサイズです

### 2 瘢孔周囲のスキンケア

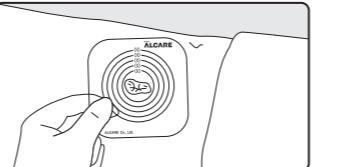


①石鹼または清拭剤を染み込ませたガーゼで、患部周囲の皮膚を十分に清拭します。

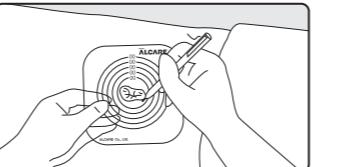


②温湯に浸したガーゼで、石鹼または清拭剤を完全に取り除きます。

### 3 サイズの計測および型紙の作成

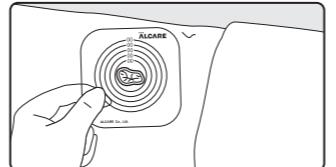


①患部にカッティングゲージを乗せます。

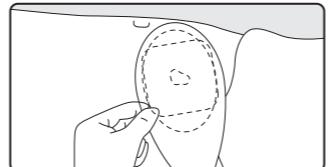


②患部の形に合わせて、油性マジックで形を写し取ります。

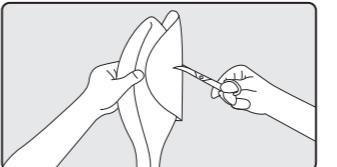
### 4 接皮部の穴開け



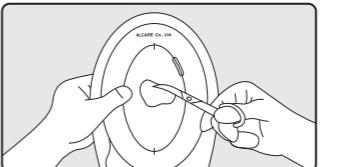
①穴を開けたカッティングゲージを患部に乗せます。



②ゲージの上に装具を装着する予定方向に重ね、ゲージごと取り外します。



④袋を切らないように十分注意して、皮膚保護剤を半分に折り、穴開けのための切り込みを入れます。

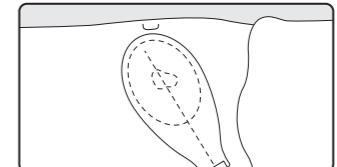


⑤切り込み部分から写した形の通りに、ハサミでカットします。患部がスキンレベル以下に陥没している場合は、5mm程度大きめにカットします。

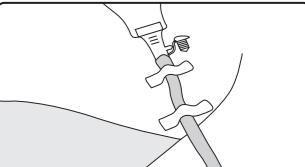
### 5 装具の装着



①患部周囲のシワやくぼみは、プロケアーソフトウェハーで補正し、平らにします。



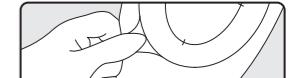
②排液を流れやすくするため、必ず装具は体に対して少し傾斜させて装着します。



④袋部がねじれないと、接続チューブをテープで皮膚に固定します。



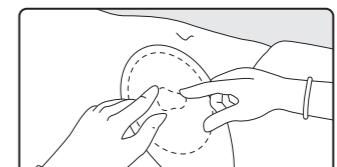
### ドレナブルパウチとしての使用方法



①排液が固形化したり、粘稠な場合は、口具部をカットします。



③装具を患部周囲の皮膚にしっかりと密着するように貼付します。



注意:袋部がねじれると、排液の流れが悪くなり、排液漏れの原因となる場合があります。



②切り口を折り曲げ、クリップ等でとめます。

注意:石鹼および水分の取り除きが不十分な場合、粘着力が低下し、排液漏れの原因となります。

注意:穴開けの際は、定められた有効径の範囲を超えないようにご注意ください。有効径を超えて穴を開けると、袋が破れたり、確実な固定力が得られない場合があります。  
切ったままの状態は、切り口が滑らかではありません。特にストーマ等へご使用になる場合は、患部を傷つける場合があります。